

承認	議長	副議長	事務局長	総括参事	合議	担当
					 	

様式第 1 号

令和 6 年 1 月 17 日

真庭市議会

議長 小田 康文 様

真庭市議会議員

吉原 啓介



調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

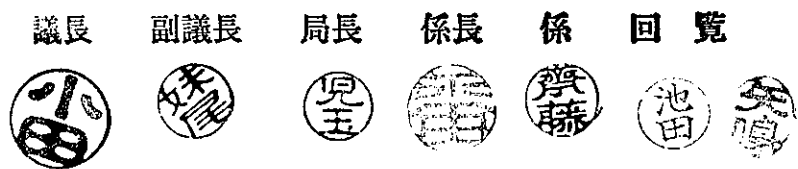
- 1 区 分 ☒ 調査研究 研修会 要請・陳情活動
- 2 訪 問 先 東京ビッグサイト
- 3 内 容 脱炭素・エネルギーイノベーション総合展
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ ☐ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



行程表

令和6年1月31日	移動	9:50	岡山空港（※真庭→空港は自家用車）	ANA
		11:05	羽田空港	
		11:35	羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
		11:56 12:08	天王洲アイル	りんかい線
		12:14	国際展示場	
	東京ビッグサイト	12:30～ 16:30	脱炭素・エネルギーイノベーション総合展	
	移動	17:00	国際展示場	りんかい線
		17:44 17:47	赤羽	JR
		18:05	北浦和	
令和6年2月1日	移動	8:55	北浦和	JR
		9:14 9:17	赤羽	東急
		10:00	国際展示場	
		東京ビッグサイト	10:30～ 16:30	脱炭素・エネルギーイノベーション総合展
	移動	17:00	国際展示場	りんかい線
		17:44 17:47	赤羽	JR
		18:05	北浦和	
	令和6年2月2日	移動日	7:38	北浦和
8:23 8:28			浜松町	
8:52			羽田空港第2ターミナル	東京モノレール
10:05			羽田空港	ANA
11:25			岡山空港（※空港→真庭は自家用車）	
※宿泊 さいたま市				



報 告 書

令和 6 年 2 月 2 日

真庭市議会議長 小田 康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 吉原 啓介



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・~~研修会~~・~~要請陳情活動~~をしましたので、その結果を報告いたします。

記

1. 脱炭素・エネルギーイノベーション総合展

(1) 日時

令和 6 年 1 月 31 日 (水) 13 時～17 時

2 月 1 日 (木) 10 時～17 時

(2) 場所

東京ビッグサイト 東展示棟

(3) 面談相手先 (主なもの)

①株式会社ウォーターリンクス

スマート水道メーター (検針自動化 IoT) 等、水道 DX 事業推進。

鏡野町で実証実験中。水道メーター検針から水道料金管理まで、水道関連事業の自動化を通じて将来の人不足への対応やトータルコスト削減を目指そうというもの。

②ミサワ環境技術株式会社

地中熱 (地熱ではない) を利用した路面融雪や施設冷暖房システムの提案。

地上と地下の温度差を利用したヒートポンプシステムでの冷暖房で、環境保全とランニング費用削減を目指した提案を行っている。

広島三次市に本社があるが、岡山県内での実績はないので、ぜひ提案させてほしいとのこと。



③三機工業株式会社

木質バイオマス発電プラントの紹介。

直接チップを燃やして熱源にするのではなく、チップをガス化して燃焼させた熱源で発電を行う仕組みで、より小規模化できるというもの。

バイオガスを利用した発電プラント提案も可能。

④北海道石狩市

真庭市と同様、脱炭素先行地域（第一回）に選定されている。

石狩湾新港地域内に設定した再エネ100%エリア「REゾーン」及び石狩市役所周辺の公共施設群において再エネの地産地活の取り組みを進めるほか、災害時に孤立が危惧される地域課題解決のため、地域で使うエネルギーを地域で使う地域マイクログリッドの構築を行っている。

⑤日本エンジニヤ株式会社

河川や農業取水路を利用した小水力発電システム。

中山間地の集落における地域電力供給を可能にするもの。

⑥BIPROGY株式会社

旧社名／日本ユニシス株式会社。

ビジネスソリューションを提供するITサービス企業。

日本総合研究所設立のローカルグリッド研究会にて検討されたローカルグリッド事業モデルを参考に、地域マイクログリッドへの貢献が見込まれるソリューション整備を進めている。

⑦NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）

ペロブスカイト太陽電池等の次世代基盤技術開発、洋上風力（山間部ではない）、バイオマスエネルギー、地熱・地中熱の利用、再エネ熱利用、小水力等といった新エネルギー及び省エネルギー推進に向けたイノベーション・アクセラレーターとしての取り組みや現在の最新技術の紹介。

⑧有限会社角野製作所

農業用水路等での小水力発電装置においては国内のパイオニア的存在。

数年前には真庭にも訪問したことがあるとのこと。

⑨株式会社ホワイトデータセンター

蓄雪施設によるデータセンターのサーバー冷却や、それに伴う廃熱利用、地中熱の活用取り組み事例の紹介。

⑩産業技術総合研究所

新エネルギー開発等にかかる研究成果等を中心とした紹介。

12月議会の一般質問でも出た「ドリーム燃料」の課題も紹介されていた。

(4) 所感

○東京都をはじめ、自治体の取り組みを紹介するブースもいくつかあった。共通していたのは、脱炭素・省エネルギーを個別単体の事業としてではなく、エネルギーの地産地消に向けた体制作りとしてつなぎ合わせ、総合的に推進している姿勢という印象を受けた。この点、真庭市も市・広域におけるエネルギーの将来像・あり方についての今よりもっと明確なビジョンとそれに基づく総合的かつ具体的な計画策定、何よりそれらを実現するためにはどうすればいいかという行動計画が必要ではないかと感じた。石狩市からは行政視察にかかるお誘いもいただいた。

○この種のイベントの出展者の間では、真庭市という存在の認知度は結構高い、が、具体的にどのような取り組みを行っているのか、ということに関しては予想以上に知られていない。情報連携のチャンスにもつながるので、真庭市としての活動紹介出展を検討してもよいのではないかな。

○地域で作り出したエネルギーを地域で有効に活用できるようにするには、発電施設もさることながら電力や熱を送るためのグリッドがとても重要となる。各ブースで話をしたなかでもこの部分の重要性に関する意見が多く聞かれた。今回の出展者には送電・送熱システムに関する紹介を行っていたものは僅少であったが、2月末には同じく東京ビッグサイトにおいてスマートグリッド技術等の紹介も含む「SMART ENERGY WEEK 2024」という展示会が行われる予定となっており、可能であればそちらもぜひ見学・情報収集に努めたい。

○詳細資料については関係部局と共有し、脱炭素社会構築に向けた情報提供とともに検討を働きかけたい。

以 上

【会場の様子】

